

ALL LINER® NEWS



ALL LINER® ASSOCIATION

2014.1.1 Vol.32(新春号)



CONTENTS

新年のご挨拶	2 ページ
新入会員のご紹介	3
青年部活動報告	4～7
展示会出展報告、本部事務局移転のお知らせ	8～9
支部だより	10
「下水道管更生技術施工展 2013 東北」に出展しました	11
会員名簿	12



(上) 北海道に初夏を告げる花・ライラック。記念すべき第20回定時総会は6月、ベストシーズンの札幌市で開催します
(下) 「下水道展'13東京」での屋外デモ施工。カラーコーンは、富士山世界文化遺産登録記念バージョンです

新年のご挨拶

二〇一四年 年頭挨拶

オールライナー協会 会長 小林 友則



続くものと予想されています。

計画的維持管理時代への期待

会員の皆様ならびにご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

日頃はオールライナー協会の活動に多大なご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、新政権が打ち出した「アベノミクス」で景気も上向きになると期待されましたが、まだまだ実感できていないのが現状であると思います。具体的な新しい施策を期待していますが、厳しい事業環境は、今しばらく

ります。

技能向上への取組み

ただ、国土交通省下水道部が昨年一月に発表した「下水道施設の老朽化状況とストックマネジメントの方向性について」の中では、下水道長寿命化計画策定について、供用開始後30年を経過した下水道施設を管理している自治体（全国で約400都市）における同計画策定率を、平成28年度末までには100%にすると言っています。このことからすると、今後は、ますます計画的な維持管理が行われていき、改築更新が進められていくと思われるので、受注の機会も増えることと、期待してお

昨年六月に福岡市で開催した

定時総会では、青年部を支部と同格とすることが満場一致で承認されました。このことが示す

ように、オールライナー協会では、会員各社スタッフの施工技術の向上を目指して、積極的に活動しております。また加えて、支部別の意見交換会や勉強会、各種デモ施工等も行ってきました。会員の皆様におかれましては、今年も積極的な活動を期待しております。

また、新たに地区会員制度を創設しましたが、現在までで19社の入会がありました。今後一緒に各地区でのPRを行い、受注の拡大に繋がればと考えております。

下水道協会認定工場

メーカーであるアクアイン

テック(株)は、(公社)日本下水道協会の「認定工場制度」における「認定」を取得するために取り組んでいます。

この制度は、地方公共団体や工事請負者が安心して下水道用資器材を使用できるように、下水道協会が全国統一の基準で製造工場やそこで生産された資器材の品質検査等を行うものです。下水道協会認定の工場で品質確保に努めて更生材料を製造し、これを協会員が確実に現場で施工することにより、信頼のある製品をお客様に提供できます。工場認定は4月には取得できる見込みです。

今後、管路更生事業の信頼性が高まれば、発注量の増加は大きい期待でき、会員の皆様の活躍の場はさらに広がると思われます。そのためには、協会・協会員・メーカーが一体となって、さらなる品質の向上に取り組んでいく所存です。

オールライナー協会としても、いろいろな情報を全支部に発信してまいりますので、ご利用いただければ幸いです。

最後になりますが、オールライナー協会の益々の発展と会員各社のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新入会員の紹介 (12社)

平成25年1月より12月までに入会した会員のご紹介をいたします。
今後オールライナー協会の会員として、協調し活躍されることをお祈りいたします。

(平成25年12月31日現在)

No	所属支部	会社名	取締役社長	所在地	入会日	営業内容
1	関東支部	相模開発(株)	亀井 勇良	〒253-0114 神奈川県寒川町田端 1577	25年5月	土木工事業、道路資材製造販売
2		(有)平誠工業	石橋 利枝	〒400-0053 甲府市大里町 3559-3	25年9月	土木工事業
3		(一財)上越市環境衛生公社	上石 秀一	〒942-0061 上越市春日新田5-21-15	25年12月	一般廃棄物処理業、浄化槽清掃業 産業廃棄物処分業
4		(株)川口組	加藤 利男	〒464-0858 名古屋市中千種区千種3-12-3	25年4月	土木工事業、水道施設工事業
5		北川工業(株)	北川 雅弘	〒420-0841 静岡市葵区上足洗3-3-3	25年4月	土木工事業
6		(株)タケコシ	木村 昭	〒464-0003 名古屋市中千種区新西2-8-5	25年4月	土木工事業、水道施設工事業
7	中部支部	東城建設(株)	吉田 讓	〒937-0042 魚津市六郎丸 2935	25年4月	土木工事業
8		(株)平井組	平井 勉	〒420-0842 静岡市葵区錢座町 100	25年4月	土木工事業、建築業
9		丸善建設(株)	広岡 克則	〒920-0226 金沢市栗崎町5-176-3	25年4月	土木工事業
10		TSUCHIYA(株)	土屋 智義	〒503-0917 大垣市神田町2-55	25年6月	土木工事業、建築工事業
11	中国・四国支部	(株)サクラダ	川中 有志	〒456-0033 名古屋市中熱田区花表町 14-5	25年9月	土木工事業
12		(有)アースウイング	岡崎 元紀	〒720-0311 福山市沼隈町大字草深 2786-132	25年10月	土木工事業、管工事業、水道施設工事業

青年部活動報告

回想録、そして未来へ、

平成25年度青年部活動報告

オールライナー協会青年部 情報処理担当 松岡 聖文
(株朝日管清興業)

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく、よろしくお願いいたします。

私、本年度を持ちまして、オールライナー協会青年部役員を卒業することになり、松本正一郎より当ニュース誌新春号の原稿執筆依頼がありました。

本来なら正月に関する風習等、または青年部の活動状況等の執筆依頼でしたが、「最後に何でもOKです」の一言がありましたので、「回想録、そして未来へ、平成25年度青年部活動報告」と題して、執筆させていただきます。

回想録①

十年前、松本さんが青年部部长に就任することが決定してまもなく、私に「副部长になって欲しい」

との依頼がありました。

私としては、現場の第一線で活躍（営業活動を含めた）している人の集まりで、苦勞を強いている点や改善事項、注意点、要望事項等の意見を出し合って、より良い製品作りに役立てれば良いと思って快諾しました。

その後、青年部役員を選任して、松本部長率いる新青年部のスタートを切りましたが、当初は青年部の活動方針が（活動範囲や内容が多すぎて）定まらず、役員会を開催しても意見が少なく、手探り状態が続いていました。

そのころ部長が私に、「役員会で提案や意見を述べるのも限られた人しかいない。どうしたらええやろ」と一言。私にとっても、とても重い一言でした。

その頃は、勉強会の議事内容やセッティング、連絡等を松本部長がほぼ一人で担っている姿を見て、私としては、やれることはやっているつもりでしたが、まだ努力が足りないと感じていました。

しかし、ここ数年前からは、役員会での意見も出るようになり、勉強会での議題に対しても担当を選出して発表後、集っていただいた人からの意見も出るようになって、どんどん活発さが出てきて、部長の負担が少しは軽減できてきたかな？ と思います。

回想録②

各地域に出向いて小規模での勉強会や意見交換会を提案することになったのは、亡くなられた元オールライナー協会会長・松本浩治氏との立ち話がきっかけです。

その当時はオールライナー協会でも「臭気」の問題を抱えており、ようやく低臭気ライナーが完成し一段落しかけた頃だったと記憶しています。

「松岡君、臭気の問題も解決が付いたけど、なぜ、たまに不具合が出るんや。同じ材料で同じ

施工をしているれば、金太郎飴のごとく同じものができて当たり前やろ」との一言がきっかけです。

私的には、実際は各現場一つひとつ全く同じ現場はないと考えています。見た目では、材料を挿入し、水を入れて温水にして硬化させ、切断して取付け管部を穿孔して終了

ですが、細かな点で日々変化している現場作業での作業員は、常に検討・創意工夫をし、努力しているはず。その人たちの経験を集約して発表し、施工の向上に繋がりたいと考えました。

しかし、役員会でも意見が出づらいの、現場の人間が大勢の人



勉強会・意見交換会のようす

の前で意見など発言するはずもなく、また各会社にとっても大事な人材を一日出張させて経費もかかります——。それならこちらから出向いて、少人数でもいいから集っていただいて、貴重な意見をいただきに行けばいいと考え、提案しました。

結果的には、やはり貴重な経験談、創意工夫した治具等のお話をいただくことができました。そうした意見を基に後日勉強会を開催していますが、集っていただいた各会社にもいい勉強になっていると思います。

今後もこのように、知識や知恵を共有し、松本・元会長の言葉のように、金太郎飴のごとくいい製品を作り上げていきたいと考えております。

また、意見交換会でいただいた改善点等の中にはその実現に時間がかかるものもあり、宿題とさせていたいただいている件もあります。しかし、それら宿題については現在も前向きに検討していますので、ご了承ください。

回想録③「3・11」

2011年3月11日に東北地方を震源として起こった地震と津波。当日、私は家にいて、地震や津波被害のライブ映像をテレビで見っていました。そしてテレビに映し出されたのは、仙台空港を津波が襲い、自動車や飛行機、瓦礫、材木等が流されていく映像でし

た。この時は、津波の凄さと恐怖で、ただワーワー声を上げるばかりでした。

興奮が少し冷めたころ、「待てよ、仙台空港の近くに、昨年青年部のゴルフでお世話になったケンナンさんの会社があったはず……」と思い出し、恐怖と心配で興奮していたことを思い出します。また「この地震と津波によって協会員さんにも被害が出ていなければ」と祈るばかりでした。

発災後数日たつてから、青年部のネットワークを通じて状況連絡をいただいたとき、会社や工事用車輛が津波によって流され、従業員のお一人が消防団の活動中に死亡になったと聞き、ショックを覚えたのを今でも忘れません。現在は、大変なご苦労もあつたと思いますし、ご苦労の途中かも知れませんが、会社が再建されているとお聞きし、安堵しています。これからのご多幸をお祈りするとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

連日震災のニュースを見ているなか、「何かできることはないか」と考えていたときです——被災

した人たちのインタビューの中で、「もう何日もお風呂に入っていないので、お風呂に入りたい」と話しているものがありました。「そうだ、うちには80万カロリーのボイラー車がある。お風呂のお湯を沸かすのに利用できる！」と考え、行動に移しました。

当時は仕事も一段落していたので、まずは簡単な構想図（配管図、配置図）を基にした実験を若い衆にさせ、その間に機材（テント、浴槽、配管等）の材料費の概算予算の算出をしました。

このときに問題になったのが浴槽でした。一度に何人も入れる浴槽の代わりになる物、簡単に持ち運びが出る物は何かないかと思案し、青年部の役員に問い合わせてみました。

私も、自宅近くにある自衛隊の基地に出向きました。隊員が長期間野営する際に使用する簡易風呂場があるのを知っていたので、貸してくれと「だめもと」で交渉するためです。しかしやはり、「国の物なので貸せない。でも何か代わる物があつて運搬が大変なときは、お手伝いいたします」との約

束を取り付けました。

その後、青年部の皆さんから漁港で使われているFRP製のいけすとか色々意見をいただいた中に「アメリカ製のビニールのプールはどうでしょう」という提案がありました。

すぐさまメーカーとやり取りしましたが、「あくまでもプールなので、お湯を入れて使うのは……。でも、当社としてもアメリカに問い合わせをしてみます」との返答。

翌日連絡があり、「あくまでも



「虹のゆ」外観。夜19時まで開設しました

プールなので、今まで浴槽として使ったことはなく保証はできません。しかし、使用しても壊れない自信はあります」とのこと。そして事務員さんも、「松岡さん大丈夫です。夏の暑い時季に使っている物ですし、かなり頑丈にできて

います。また、当社としても災害時に浴槽として使っていただければ有難いと社長も言っています」とのことでした。

外殻は整った。後は、当社社長から、ボランティアでお風呂を提供する承諾を得るだけ——。説明



避難所に設置した入浴施設「虹のゆ」の浴室

後、社長からは「当社従業員全員の参加意思を確認すること。規模が大きいのので、オールライナー協会の協力があれば有難い。要請して」との返答がありました。

早速、当社社員に参加の確認をしたところ、全員が快諾。翌日、

協会本部にお風呂支援について連絡すると、「関東地区でもお風呂支援について検討していて、今日の午後集って会議をする予定だから話をしておきます」との返事でした。確か翌日には現地に行つて打ち合わせ、そして準備と慌し



お風呂の湯加減を管理しているところ

かったと記憶しています。

関東支部、東北・北海道支部がメインで活動していただくなかで、青年部の阿部欣文さんには支援現場での陣頭指揮をとっていただき、大変感謝しています。

私は考えただけで現地には行きませんでした。が、中部支部として、人員のバックアップの要請があったらすぐに動けるように、中部支部役員の皆様の応援を得て、体制を整えていました。

結局、関東支部、東北・北海道支部の方々をはじめ材料メーカーおよび協会が一体となって遂行してくださいました。

被災者の皆様から「ありがとう」の言葉をいただいたことに対して心から御礼申し上げます。

そして未来へ

私の提案でできた地方での意見交換会ですが、今後どのように発展・進化していくのか、はたまた消滅しているかも分かりませんが、それも含めて楽しみでなりません。

なぜなら、原点はブレていないからです。青年部発足の理由は「若



9月19日に福岡で開催した勉強会のようす

者（現場・営業）の意見を自由に発言していきましょう」が当初からの意思で、この意思がいつまでも受け継がれると信じているからです。

今年からは青年部も理事会に出

席させていただくようになり、青年部の意見が直接、理事会に届くことになりました。その分責任も重くのしかかってくると思います。が、今まで以上のご発展をお祈りしています。

平成25年度青年部活動報告

今年度の勉強会および意見交換会の発表会を9月5日に東京、9月19日に福岡でそれぞれ開催しました。

議題① 耐震管口（管更生工事との抱き合わせによる発注）について

設計書の見方（1ヵ所あたりの金額を説明）↓工事の工程（作業時間・日進量）↓状況および完成写真にて説明

（株）ケンセイの北浦慎也さんに説明していただきました。

議題② 総合評価点数（創意工夫）について

総合評価を上げるために行なっていること？ どんな創意工夫を行ない提出しているか。創意工夫内容を実際の写真を使って説明

宇都宮文化センター（株）の阿部欣文さんに説明していただきました。

議題③ テストピース作成割合について

管体採取か平板かの確認
各支部役員により近隣市町村の状況入手して表にして発表

（有）ミエコロジーの宮下慎也さんに説明していただきました。

議題④ テストピース試験代金について

アクアインテック（株）の兒玉太志さんより説明していただきました。

議題⑤ 施工時の問題点（平成24年度）

東海下水道整備（株）の松本正一さんより説明していただきました。

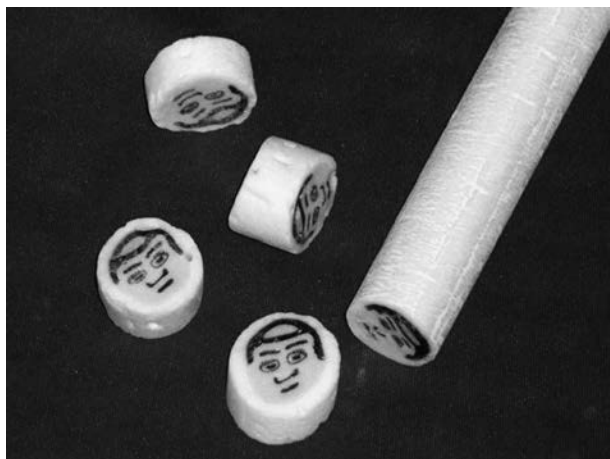
また、執筆時点では開催されていませんが、11月26日には部会で、2t車に搭載できる蒸気ボイラーユニットを

使用して、試験的にオーライナーZ工法を施工して、検討会を開催する予定になっています。



◆ このような活動を行っている青年部を、この文章で少しは分かっていたかと思えます。

現場の意見から生まれた内容の勉強会・意見交換会ですので、開催時



には「チョット覗いてみようか」の感覚で結構ですので、ぜひ参加してみてください。何かの役に立つときが来ると思います。

また、多数のご入会を心からお待ちしておりますとともに、協会員の皆様には、金太郎館のごとく、よりよい製品作りにご尽力いただき、また会社のご繁栄を祈念して、青年部を卒業させていただきます。

本当に、長い間、ありがとうございました。今後とも、よろしくお付き合いください。

展示会出展報告、 本部事務局移転のお知らせ

オールライナー協会事務局

下水道展'13東京

今年度の下水道展は7月30日（火）～8月2日（金）まで、東京ビッグサイトで329団体（1033小間）が出展され開催されました。

今回は7月31日、8月1日の二日間、東館外部のトラックヤードで、管更生のデモ施工も行いました（写真－1）



写真－1 屋外で実施されたデモ展示

真－1）。暑いなか、1167人が当協会ブースにお越し下さいました（全体の来場者は、8万8645人との事です）。

屋内展示では「お客様・会員さんに談笑室及び憩いの場を」をコンセプトに出展しました（写真－2）。

開催地担当支部および青年部、メーカーを中心に、熱心に商品説明する姿が見受けられました。また冷たい



写真－2 屋内の協会ブース外観

ものづくりNEXT2013

物を口楽しく談笑していただけたようです。青年部の皆様、メーカーの皆様、また関係者の皆様、暑い中いろいろとお手伝いいただき、本当にありがとうございました。お陰様で「下水道展'13東京」を無事終了することができました。

次回「下水道展'14大阪」は7月22日（火）～26日（金）開催予定です。

東京ビッグサイトで開催された「ものづくりNEXT2013」に昨年度に引き続き出展しました（写真－3）。10月30日（水）～11月1日（金）の会期中総来場者数は



写真－3 「ものづくりNEXT2013」でのようす

2万4733人で、当協会ブースへは約650人の方がお見えになりました。

工場内で使用されている管きよ等の場合、高温の排水や、薬品を含む排水が流れていることがあり、公共下水道以上に過酷な状況下にあると思われまふ。そのような状況下では、所定の耐用年数に達していない管きよでも、腐食や劣化、破損、ズレ、扁平等により、地盤の崩壊、管きよの排水機能の低下、周辺地盤への排水の漏出や管内への地下水・土砂の流入等が生じ、事業者等が不利益を被ることが考えられます。そこで、民間工場の維持管理をテーマに

「下水道展'13東京」ブース来場者

	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	合計
自治体	40	74	95	76	285
一般	139	200	218	159	716
コンサル	21	30	32	34	117
海外	30	13	5	1	49
計	230	317	350	270	1,167
全体	16,424	24,092	24,797	23,332	88,645

開催される「ものづくりNEXT2013」に今回も出展し、オールライナー工法を幅広く知っていただき、未然防止対策技術として活用していただくべく宣伝活動を行いました。協力をいただきました青年部の皆様、メーカーの皆様、また関係者の皆様、いろいろお手伝いいただき本当にありがとうございました。お陰様で無事終了することができました。

今回は平成26年11月12日（水）～11月14日（金）、東京ビッグサイト・西ホールで開催の予定です。

大阪府主催「デモ展

大阪府都市整備部下水道室主催による講習会が11月1日に東大阪市の大阪府鴻池水みらいセンターにおいて開催され、このなかで当協会はオールライナーZ工法の施工実演を行いました。

この施工実演は、大阪府の講習会に協賛している(社)日本管路更生



真剣な面持ちで施工を見守る受講者たち

工法品質確保協会が加盟工法協会に呼びかけ、当協会を含む11工法協会がそれに呼応するかたちで実施したものです。講習会には大阪府および府下27市町村から関係職員90人が参加し、普段はなかなかじかに見ることのできない下水道管更生工法の施工風景であるため、皆さん熱心に見学していました。

本部事務局移転のお知らせ

【新所在地】

平成26年1月6日より、アクアイ
ンテック(株)東京営業所移転に伴い、
オールライナー協会本部事務局を下
記所在地に移転します。

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台4-2-5
御茶ノ水NKビル7階
TEL 03-5289-4340
FAX 03-5289-4341

事務局が入る「御茶ノ水NKビル」の、本郷通りを挟んだ向かいには、日本最古のビザンチン様式の建物で国の重要文化財にも指定されている、日本正教会の「東京復活大聖堂」(通称「ニコライ堂」)が厳かに建っています。また、この通りを御茶ノ水駅方面へまっすぐ進み神田川を渡ると、国指定の史跡「湯島聖堂」があります。こちらは江戸幕府の儒学者・林羅山が建てた孔子廟で、後には幕府直営の学問所「昌平坂学問所」としても使われました。今も毎年4月の第4日曜日には孔子を顕彰する「孔子祭」が行われています。ちなみに、神田川にかかるこの橋は、兩岸に建つ東西の聖堂を結ぶことから、「聖橋」と名づけられました。さだまさしの代表曲「檸檬」でもこの橋が登場しています。



支部だより

関西の正月の風物詩 「えべっさん」

関西支部

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

そもそも「お正月」と一口に申しますが、調べてみますと、昔は旧暦1月のことを「正月」と言い、現在でも元旦は1月31日の期間を指します。元旦は1月1日、三が日は1月1日～1月3日、松の内は1月1日～1月15日となっているようです。

ということで今回は、お正月（1月1日～31日）における関西の「十日戎」をご紹介します。

えべっさん

「十日戎」は、五穀豊穡や大漁、商売繁盛を祈願する「えびす講」のなかでも正月の1月10日～15日前後に行われる祭礼です。関西では「えびす祭」や「えべっさん」と呼ばれ親しまれています。

今回は、関西でもひととき賑わう、大阪は今宮戎神社の「十日戎」を取り上げたいと思います。開催期間は1月10日を挟んだ三日間。近年では、

その間に300万人もの参拝者が訪れるようです。

十日戎の笹

笹や竹は古くから日本人の生活に深く関わってきた植物で、それらの持つ青々とした清浄さ・根強さ・旺盛な繁殖力などに、古代の人々は強い生命力と神秘性を感じ取り、神霊が宿ると考え信仰心を深めていきました。ゆえに神事には笹が多く用いられ、かの「竹取物語」でかぐや姫が竹から生まれるのも同様の信仰に基づくものだと言われています。十日戎の笹は、上記のことから、青々とした葉をたくさんに付け、のびのびとどんどん成長して拡がりいく生命としての意味合いを示し、命の生成発展を願うものとされています。

宝恵駕籠行列

紅白の布で飾られた駕籠に盛装した芸者が乗り込み、その周囲を幫間（はうかん）が取り囲み、「ホエカゴホエカゴ、エライヤツチャエライヤツチャ」の掛け声とともに参詣する情景がしのば

れます。現在では宝恵駕籠も地元商店街の協力の下、昔の様式を残しつつ、なおかつ現状とあまり乖離しないよう、芸能人や各界の著名人、文楽人形の参加等を得て、行列を華やかに盛り立てています（とある関西系芸人が宝恵駕籠行列に参加した時のエピソードが、全国放送のバラエティ番組で披露されたことも……）。

福むすめ

今宮十日戎を語るに、「福むすめ」は外せないでしょう。

この「福むすめ」とは、十日戎で「奉仕」をする、一般より募ったお嬢様方です。えべっさんの期間中、この「福むすめ」が官公庁や各関係団体、報道関係の三班に分かれて挨拶回りを行うほか、餅まき行事や舞楽奉納式に参列します。1月9日～11日の十日戎では、朝9時～



参詣者は、それぞれの笹に、野の幸・山の幸・海の幸を象徴した「吉兆」を笹につけてもらう

夜9時まで、神社授与所で笹の授与を行います。

お揃いの着物の上に千早（ちはや）を着用し、頭には金の烏帽子（えぼし）を付けてかいがいしく「奉仕」する姿は愛らしく、人気を博しているようです。宝恵駕籠行列にも参列します。例年9

初詣と「ぼっぼ焼き」

関東支部

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新潟の正月の風物としては「のっぺ」が知られていますが、今回は新潟のB級グルメである「ぼっぼ焼き」をご紹介します。

初詣に行きますと帰りに必ず、神社の屋台で売られているぼっぼ焼きを買います。ぼっぼ焼きは、数ある屋台の中でも一番人気で、順番待ちをしないといえそうです。ぼっぼ焼きは細長い茶色のパンのような焼き菓子で、薄力粉と黒砂糖などからできています。噛むともちもちとした食感で、黒砂糖のほのかな甘さが口中に広がり、一度食べたら病みつきになる味です。

ぼっぼ焼きは、新潟県の下越地方——新潟市とその周辺地域に見られます。店頭では販売はされておらず、初詣や祭りの屋台で買うことができます。



「ぼっぼ焼き」型に流し入れた材料に焼き色が付いたら、たこ焼の要領でひっくり返して焼き上げる

月より公募されますが、見事選ばれた「福むすめ」たちは随分可愛く、美しいようです。大変興味が湧きますね。「福むすめ」目当て大いに結構、皆様もぜひ一度、今宮十日戎に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

ます。発祥地は新潟県新発田市で、北蒲原地域を中心に広がったようです。もともと北蒲原ではぼっぼ焼きのことを「蒸気パン」と呼んでいました。これは焼き器から蒸気が立ち上るためと思われるのですが、実際は、蒸し焼きにしているわけではありません。1995年頃からぼっぼ焼きと呼ばれるようになったようです。新潟にお越しの際、祭りなどの機会がありましたら、ぜひ、ぼっぼ焼きをお試し下さい。

「下水道管更生技術施工展2013東北」に出展しました

オールライナー協会事務局

「下水道管更生技術施工展2013東北」（主催・（公社）日本下水道管路管理業協会、同東北支部）は平成25年10月4日（金）、宮城県宮城郡利府町のグランディ21で開催され、宮城県内外から行政関係者やコンサルタントら1204人が見学・体験に訪れました。

開会式で挨拶に立った国土交通省東北地方整備局の岡本裕豪・建政部長は、「アセットマネジメントの取り組みと連動して下水道管更生技術の普及を加速させていくことは、下水道事業にとってこれからきわめて重要になる」と話し、管更生工法の普及拡大に期待感を示しました。

同じく仙台市の渋谷昭三・建設局次長は、「東日本大震災では、被災直後のどうなるかわからない時期に（管路協の）皆様がいち早く全国から駆けつけてきて下さり、実に助かった。なかには管更生に止まらず、施工に用いるボイラー車を使

った工法協会もあった。寒くて大変な時期に助けていただいた。本当にありがたかった」と、当協会が2011年4月1日から約1カ月間、仙台市宮城野区の避難所に臨時入浴施設「虹のゆ」を設置したことに対するお礼の言葉をいただきました。また渋谷局次長は、「東日本大震災では更生工法で再構築した管路に被害は一切なく、耐震性にも優れていることが実証された」と話し、管更生を積極的に採用していく姿勢を示しました。

ブース展示では、中村説明員の下にクルー（豊興産、ケンナン）のご協力により、オールライナー、パイトライナー、サイドライナー、パイトライナーSと各工法のデモ施工を午前と午後の2回実施しました。

116名の方が当ブースへお見えになりました。このデモ施工展を機会にさらに管更生への関心が高まり、工法拡大につながることを願います。

「下水道管更生技術施工展2013東北」ブース来場者

官公庁	コンサルタント	その他	計
33名	5名	78名	116名



▲会場に花を添えた「2013 せんだい・杜の都親善大使」の佐藤琴乃さん（左）と安倍由夏さん（右）



▲オールライナー協会では各種工法について解説する中村説明員（写真左）。ちょっと緊張気味です



▲サイドライナー工法の施工実演。「カタログで見ると違って、理解しやすい」と見学者にも好評でした



▲会場風景。38社・団体が自慢の技術などを実演展示した今回のデモ施工展は、終日秋晴れに恵まれました

会員名簿

[] は出先機関／五十音順 (各支部毎)

平成25年12月31日現在

東北・北海道支部 (18)

(株) 伊 藤 組
(株) 伊 藤 鉦 業
(株) 英 明 工 務 店
(株) 亀 田 清 掃
[管 清 工 業 (株)]
環 清 工 業 (株)
(株) 北日本ウエスタン商事
協業組合アクアテック栗原
協 業 組 合 ケ ン ナ
(株) 東 部 清 掃
仲 野 衛 生 管 工 (株)
(株) 西 田 組
[日本ハウエイ・サービス(株)]
早 川 建 設 工 業 (株)
(有) 東日本環境保全工業
豊 産 管 理 (株)
松 浦 商 事 (株)
豊 興 産 (株)

関東支部 (47)

ア イ レ ッ ク 技 建 (株)
青 木 清 掃 (株)
浅 井 建 設 (株)
(株) 池 田 建 設
(株) 稲 元 興 業
上 都 宮 文 化 セ ン タ ー (株)
(株) オ ー ケ ー サ ー ビ ス
大 蔵 工 業 興 (株)
(株) 回 王 建 興
[(株) 加 藤 建 設]
川 上 建 設 (株)
管 清 工 業 (株)
(株) 関 東 特 殊 防 水
(株) 協 栄 エ ン タ ー プ ラ イ ズ
共 栄 建 設 (株)
(株) 協 同 清 美 園
(株) 京 浜 植 物 設 計
(株) 現 コ 代 イ 建 設
(株) 国 土 開 発 工 業
(株) 小 柳 産 業 組
小 相 模 開 発 (株)
三 喜 技 研 工 業 (株)
山 光 建 設 (株)
(一財) 上 越 市 環 境 衛 生 公 社
(株) 杉 山 土 建
(株) 隅 田 川 工 業
(株) 伊 達 建 設
(有) 調 布 清 掃
動 栄 工 業 (株)
(株) 東 京 三 田 組
中 泉 商 事 建 設 (株)
(株) 成 瀬 建 設
新 潟 特 殊 企 業 (株)
日 本 施 工 管 理 (株)
(有) 平 誠 工 業

平 山 建 設 (株)
扶 桑 建 設 (株)
[松 浦 商 事 (株)]
丸 新 土 木 (株)
(株) 三 木 田 興 業
(株) メ ー シ ッ ク
(株) ヤ マ ソ ウ

中部支部 (72)

(株) ア ー ス ワ ー ク
(株) 朝 日 管 清 興 業
(株) 東 建 設 (株)
(株) 新 井 組
ア ラ イ 建 設 工 業 (株)
市 川 土 木 (株)
(株) 尾 張 ク リ ー ン パ イ プ
角 地 建 設 (株)
勝 間 田 建 設 (株)
加 藤 建 設 (株)
(株) 金 沢 市 清 掃
(株) 川 口 組
[管 清 工 業 (株)]
北 川 建 設 (株)
(株) 共 栄 建 設
(株) 神 稲 建 設
(株) ク リ ー ン
(有) 肥 田 建 設
(株) 古 賀 ク リ ー ナ ー
(株) 五 光 建 設
(株) 小 林 建 設
(株) 金 剛 建 設
(株) 齊 藤 組
(株) サ ク ラ ダ
サ ン デ ル ッ ク (株)
シ ヴ ィ ル 建 設
(株) 篠 川 組
清 水 口 建 設 (株)
西 遠 建 設 (株)
大 幸 住 宅 建 設
大 伸 建 設 (株)
大 和 建 設 (株)
(株) 高 道 建 設
(株) タ ケ コ 商 会
(株) 田 中 商 事
中 採 工 (株)
中 南 勢 清 掃 (有)
中 日 コ プ ロ (株)
(有) ト ー エ イ 興 業
(有) 東 海 維 持 管 理 興 業
(株) 東 海 管 清 興 業
(株) 東 海 下 水 道 サ ー ビ ス
(株) 東 海 下 水 道 整 備
(株) 東 海 興 業
(株) 東 城 建 設
(株) 東 邦 工 務 店
(株) 富 山 土 木 業
(株) 豊 立 工 業
(株) 中 村 カ 建 設
(株) 中 村 土 木 建 設

(株) 成 田 組
[日本ハウエイ・サービス(株)]
(株) 二 友 組
(株) ハ シ モ ト
(株) 林 土 木
日 立 メ ン テ ナ ン ス (株)
平 井 工 業 (株)
(株) 富 士 本 建 設
(株) 美 蓉 施 設 セ ン タ ー
(株) 松 本 組
(有) 丸 善 建 設
(株) ミ エ コ ロ ジ ー
(株) 南 山 建 設
(株) ミ ヤ マ サ 建 設
(株) 山 城 土 木
(株) 吉 川 建 設
(株) 渡 辺 商 事

関西支部 (25)

新 井 建 設 (株)
石 坂 建 設 (株)
(株) 交 野 興 業
[管 清 工 業 (株)]
(株) 京 環 メ ン テ ナ ン ス
(株) 京 阪 神 道 路 サ ー ビ ス
(株) ケ ン セ イ
(株) 最 上 建 設
(株) 末 廣 興 業
(株) N E O D A I S E I
(株) 大 東 衛 生
(株) 大 明 道 路 管 理
(株) 武 田 興 業
(株) 司 興 業
(株) 永 川 組 建 設
(株) 西 山 組
(株) 日 本 土 建 工 業
(株) [日本ハウエイ・サービス(株)]
(株) 平 野 組
(株) 平 成 建 機
(株) 益 田 工 業
(株) 的 場 商 事
(株) 山 本 工 業
(株) 友 興 組
吉 野 建 設 (株)

中国・四国支部 (23)

(有) ア ー ス ウ イ ン グ
(株) 青 木 愛 運 輸
(株) 綾 野 工 務 店
(有) イ ワ タ ニ 工 業
(株) 環 境 開 発 公 社
(株) 関 西 防 水 工 業
[管 清 工 業 (株)]
(有) サ ン ク リ ー ン
(有) 三 尾 備 建 設
(株) 妹 尾 産 業
(株) 中 国 特 殊
(株) 友 鉄 ラ ン

(有) 中 村 興 業
(株) 藤 田 興 業
(株) フ マ イ ク リ ー ン サ ー ビ ス
(有) マ ッ ジ ョ ウ
(株) 丸 伸 企 業
(株) 三 次 衛 生 工 業
(株) ミ テ ッ ク
(株) 蓬 萊 組
(株) ヤ ク シ

九州支部 (35)

飯 盛 運 輸 (株)
(株) 石 橋 高 組
(株) 桃 井 組
(株) 環 境 開 発 興 業
(有) 環 境 整 備 セ ン タ ー
(株) 環 境 未 来 恒 産
[管 清 工 業 (株)]
(株) 北 九 州 環 境 美 化
(有) 九 興 建 設 工 業
(株) 九 州 事 業 セ ン タ ー
(有) 後 藤 建 設
小 西 建 設 工 業 (株)
西 部 建 設 工 業 (株)
(有) 山 興 建 設
(有) 浄 水 管 理 組
(株) 杉 本 建 設
(有) 武 末 建 設
(有) 天 山 環 境 開 発 工 業
(株) 富 倉
(株) ナ イ ン ス テ イ ツ
(株) 中 島 工 務 店
(株) 日 建 総 合 建 設
(株) 野 方 菱 光
(株) 林 宗 土 木
(株) 福 重 産 業
(株) フ ジ エ ア テ ッ ク
(株) ホ ク エ 工 業
(有) 前 細 川 興 業
(株) 田 丸 十 環 境
(有) 丸 新 機 工
三 浦 国 土 建 設 (株)
三 笠 特 殊 工 業 (株)
(有) 友 興

賛助会員

(株) カ ン ツ ー ル
(株) ス ワ レ ン ト
(株) 南 陽

特別賛助会員

北 野 建 設 (株)
日 之 出 水 道 機 器 (株)
T S U C H I Y A (株)

特別会員

ア ク ア イ ン テ ッ ク (株)